

3 腎臓・リウマチ科研修プログラムの概要

1. プログラムの目的と特徴

当科では、入院病床20床、血液透析病床13床で腎疾患および膠原病疾患の診療を行っている。腎疾患は、急性・慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急性・慢性腎不全、高血圧・糖尿病・膠原病に伴う二次性腎障害など腎疾患全般を扱い、さらに救命救急センターを用いて、多臓器不全を伴った急性腎不全、薬物中毒、肝不全など重症例の診療にもあたっている。膠原病は、全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、強皮症、皮膚筋炎・多発筋炎、混合性結合組織病、血管炎症候群などの診療にあたっている。

したがって、当科での3年間の後期研修により、腎疾患・膠原病疾患全般の診療が行える。また、多彩な膠原病疾患の診療を通して、長期の療養に伴う精神的、社会的、経済的な問題にも対応し、全人的な医療の理解を深めることができる。

2. 研修内容と到達目標

1年目

腎疾患、高血圧、水・電解質異常、膠原病一般の病態について正確な知識を持ち、的確な診療ができることを目標とする。

2年目

1年目に習得した専門領域の疾患の知識の向上をはかり、腎生検、血液浄化療法、内シャント造設術等の診療技術の習熟に努める。

3年目

学会や研究会への参加、発表などを行い、専門領域の診療における最新の知識を修得し、さらなる研鑽を積む。前期研修医や後輩のレジデントに対して専門領域だけでなく、内科診療全般の指導が行え、他科からのコンサルテーションに対して専門科の医師としての的確な指示ができるようにする。